

# 大久喜小学校の環境教育

## 1, 環境教育の基本的な考え方

人、自然、社会等、自分を取り巻く環境に関心を持ち、更に人間活動と環境のかかわりについて総合的な理解と認識を身につけて、環境に配慮した生活や行動をとることができる人間の育成を図る。そのための技能、知識、思考、判断及び、より良い環境を作る活動に参加する態度・能力を培う。

## 2, 本校における環境教育のねらい

地域とのかかわりの中で、環境を見つめ全人格的な育成と個性の伸長を図る。

↓そのために

**体験活動を生かしたふるさと学習の充実（ふるさと大久喜を学ぶ）**

## 3, 具体的な実践



4月 全校で海藻採り  
冷たい海水に手はかじかむけれど、大久喜の美しい海と、海の恵みを実感しました。



7月 全校でウニの殻剥き  
1つのウニに身はたった5切れ。地域の大事な産業ですが、作業は大変です。ウニが育つ環境作りの大変さも、漁協組合長さんからお聞きしました。



6月と9月 全校で海岸清掃  
昭和45年から継続しています。平成20年度には、長年の功績が認められ国土交通大臣賞を受賞しました。これからもがんばっていきます。



### 浜小屋学習

重要有形民俗文化財「浜小屋」の学習を、学級毎に毎年実施しています。講師は地域の「民俗文化財保存会」のみなさまです。茅葺きの浜小屋のいろりに火をたき、昔使った漁具や昔の漁業について教えてもらいます。「昔は手ですくえるぐらい鰯が来て…」大久喜の海のすばらしさを実感します。



5年 タコ漁の前に  
まず、海に感謝します。豊かな恵みを与えてくれる大久喜の海に…。



3年 潮汲み  
3年生は海水から塩を作ります。また、海水から取ったにがりで豆腐を作ります。きれいな海水だからできる学習です。



### 6年 サケについて学ぶ

サケ漁は大久喜の大事な産業です。八戸水産事務所の職員の方や地域の方を講師に、サケの生態やサケの育て方、サケ漁について学びます。また、一人で1匹ずつサケをさばき、サケトバ作りに取り組みます。講師は、地域の漁師さん達です。

